

職能科通信 52号

2022年5月発行

職能科通信

検索

〒243-0121
神奈川県厚木市七沢 516
神奈川県厚木市七沢 516
神奈川リハビリテーション病院
職能科
TEL&FAX 046-249-2571

新年度を迎えて

当科業務運営につきましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。新年度を迎え、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

職能科では、神奈川リハビリテーション病院に組織され、入院・外来患者さんと七沢自立支援ホーム（障害者支援施設）利用者さんへ職業リハビリテーションサービスを提供しております。今年度は、新規入職者3名を迎え、計9名（社会福祉士・精神保健福祉士・作業療法士）の職員体制で支援を行なってまいります（写真1）。



写真1 職能科職員

対面での打ち合わせ、講習会や交流会が難しい社会情勢の中、この通信を通して私たちの活動をご報告させていただき、さらにサービスの質の向上に向けた研鑽を行ってまいりますので、今後とも、ご指導とご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

2021年度の支援のまとめ

2021年度は担当医からの訓練指示書（処方）545件を受け支援を行いました。所属別内訳は、入院305件、外来232件、七沢自立支援ホーム8件でした。実人数435人の障がい別内訳では、外傷性脳損傷・脳血管障がい・脳疾患など脳損傷の方が81%、脊髄障がい・その他（難病、切断、視覚障がいなど）の方は19%でした（図1）。また、就職・復職をされた方は95名でした（表1）。（科長 松元 健）

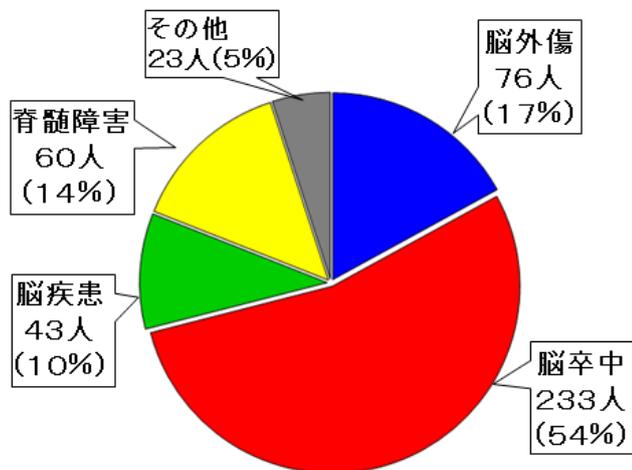


図1 2021年度 障がい別実人数内訳

	新規就労	復職	自営	計
脳外傷	5	7	1	13
脳卒中	3	54	8	65
脳疾患	1	7	3	11
脊髄障害	0	3	1	4
その他	0	2	0	2
計	9	73	13	95

表1 2021年度 就労者数

【職員募集のお知らせ】 当院ホームページよりお申し込みください

・「職業指導員（非常勤職員）」…特別支援学校生徒さんへの職能評価（受託評価）

【利用者の傾向・就労者の推移】

職能科では、外傷性脳損傷や脳卒中、脳疾患、脊損・頸損、難病など様々な疾患の方々に対して就労や復職、社会参加に向けて入院の段階から支援を行っています。

ここ最近では国の『治療と仕事の両立支援』制度に沿った支援を診療科と一体になり進めています。図 2 にありますように脳卒中の患者がここ数年は増加傾向にあります。平均年齢も県内の平均的な回復期リハ病棟よりも年齢層が若いという特徴があり、復職というニーズを持った方々の入院が多くなっているという状況を表しています。

脳卒中患者への支援が多くなっているため、疾患別でも脳卒中患者の復職者数もそれに比例して増加していることがわかります(図 3)。昨年度までの『治療と仕事の両立支援の制度』の対象となる患者は 150 名程になります。中には退職を余儀なくされる方や制度を利用せずとも復職に繋がる方もいらっしゃるため、対象となる方がすべて制度を活用されているわけではありませんが、一定の役割は担えているのではないかと考えています。

(総括主査 今野 政美)

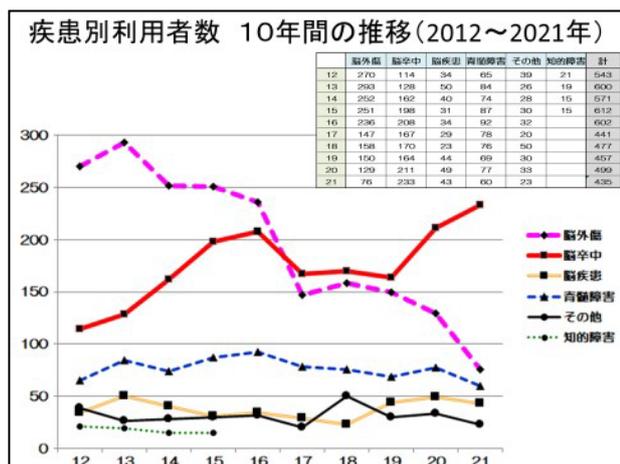


図 2 疾患別利用者数 10年間の推移



図 3 疾患別復職者数 10年間の推移

新規入職者の紹介

奥山 真由美(作業療法士)

作業療法士として、病院、介護現場で働いてきました。職能科は高齢者のリハビリテーションとはまた違ったかわり方をするので、わからないことも多々ありますが、社会復帰を目指す方のために、一緒に頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

増子 寿和(作業療法士)

「障がい者の働くをサポートしたい！」前職では、急性期で作業療法士として勤務していました。勤務する中で、働き世代の障がい者の抱える課題が「働く」でした。この課題にOTとしての視点や知識、技術を活かし長期的でシームレスな関りがしたい。そんな思いから職能科にきました。初めてのことで戸惑いも多くありますが、障がい者の働くをサポートできるように頑張っていきたいと思えます。よろしくお願いします。

畠山 咲(社会・精神保健福祉士)

この春に大学を卒業しました、社会人1年目です。大学では、障がい福祉分野を専攻し、障がい者の社会参加や生きがい形成に興味関心をもって学んできました。笑顔とチャレンジ精神を大切にし、皆様と一緒に一歩ずつ成長していけるように頑張っていきます。よろしくお願いします。